



就任ごあいさつ

福岡市保健福祉局長 舟越伸一

平素より福岡市の障がい保健福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

福岡市では、障がいのある方をはじめ、誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることのできる「健康福祉のまちづくり」を進めており、また、人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく生きていける持続可能な健全社会の実現を目指すプロジェクト「福岡100」を、産学官民「オール福岡」で推進しております。

「福岡市保健福祉総合計画」及び「第5期福岡市障がい福祉計画」に基づき、障がいのある方の高齢化や「親なき後」の地域での生活を見据え、障がいのある方が必要な支援を受けながら、自らの能力を最大限発揮し、地域で安心

して生活を続けるための施策を充実させてまいります。

また、平成31年1月に施行しました「福岡市障がい者差別解消条例」の趣旨を踏まえ、障がい者との交流を通じた相互理解が深まり、合理的配慮の考え方が広く市民や事業者のみならず浸透するようパンフレットを配布するなど、積極的に啓発活動に取り組みとともに相談体制の充実を図り、障がいの有無に関わらず、すべての人が個人として尊重される社会の実現を目指してまいります。

さらに、障がい者の地域生活への移行を進めるため、福岡市障がい者等地域生活支援協議会地域生活移行部会において、具体的な取り組みを検討するとともに、地域生活の基盤となるグループホームの設置促進などにもしっかりと取り

組んでまいります。

みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市福岡」の実現に向け、今後とも、障がいの有無にかかわらず、福岡市がすべての人にとって暮らしやすいまちとなるよう取り組んでまいりますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



【5月号の表紙にご協力いただいたみなさん】

- (中央) 福岡市保健福祉局長 舟越伸一様、
- (左上) 渡辺祥平様(視覚障がい)、
- (右上) 篠塚 毅様(聴覚障がい) ※手話で「I LOVE YOU」を表現、
- (左下) 高橋美紀様(肢体障がい)、(右下) 古川雅子様(知的障がい)

※撮影場所は福岡市が「一人一花」を合言葉に、市内を花と緑いっぱいにしていく取組みのひとつとして実施する「一人一花スプリングフェス」会場(福岡市中央区警固公園)にて行いました。



平成31年度 福岡市の障がい福祉関係予算について

福岡市の平成31年度の一般会計の予算は、8,666億円で、市税収入が167億円増加し、過去最高を更新しています。特徴としては、歳出面では、さまざまな環境にある子どもたちのために、子ども関連予算を70億円増やしました。また、高齢者や障がい者を含むあらゆる人がその能力を発揮できるような支援を行っていきます。市債は着実に縮減し、前年度と比べ約603億円減少する見込みです。

福岡市はこれからも都市基盤の充実や産業振興を図り、次の世代を見据えたまちづくりを目指してチャレンジを続けます。

このうち、保健福祉局の一般会計予算は2,141億2,677万円、前年度と比較して2.2パーセントの増、障がい保健福祉費については、465億8,236万円と、前年度に比べ30億970

万円、6.9パーセントの増となっており、障がい福祉サービスの利用者や自立支援医療費の増加に加え、各種新規・拡充事業に対応した予算となっております。

平成31年度の福岡市の障がい福祉策におきましては、障がいのある方の自立と社会参加の支援を継続し、高齢化、「親なき後」にも安心して地域で暮らせるよう、障がい福祉サービスを着実に提供していくとともに、様々な支援体制の整備を進めてまいります。

平成31年度予算に計上した新規・拡充事業の主な施策は以下のとおりです。

1 差別解消のための施策の推進

①平成31年1月に施行した「福岡市障がい者差別解消条例」の趣旨を踏まえ、障がいへの理解促進、合理的配慮の考え方の浸透に向

け、広報・啓発などの取組みを進めます。

2 地域生活の総合的な支援

①グループホームの設置促進に取り組むとともに、地域生活移行専門部会において、障がい者の地域生活への移行を進めるための具体的な取組みを検討します。

②大学・短大に通う重度障がい者が学校内で身体介護等を受けられるよう給付金を支給します。

③医療保険が適用されない人工内耳体外器の修理・交換にかかる費用を一部助成します。

3 就労支援・社会参加支援の充実

①発達障がい者について、個々の障がい特性に応じたきめ細やかな支援を行う拠点施設の整備を進め、連携体制を構築します。

②精神障がい者や発達障がい者に対する就労支援を充実させ、職場

実習の拡大など大企業との連携強化や民間就労支援事業所への技術支援を行います。

その他、今年度も引き続き「ときめきプロジェクト・ときめきグッズ受注・発注コーディネート事業」などの重点事業をはじめ、各種障がい福祉サービス、地域生活支援事業等の充実に努めてまいります。



平成31年度 福岡市の障がい福祉関係予算について

ホームヘルプサービス事業(重度訪問介護)の拡充

3,360千円

重度障がい者に対する大学修学支援

障がい者の自立と社会参加の支援

重度訪問介護対象者の大学修学に当たり、大学が重度障がい者の修学に係る支援体制を構築できるまでの間において、大学敷地内での身体介護等を提供する。



日常生活用具の給付(拡充)

3,000千円

日常生活用具の給付品目に 人工内耳用体外器を追加

人工内耳用体外器の修理・交換費用の助成

医療保険が適用されない人工内耳用体外器の修理・交換について、費用を一部助成することにより、人工内耳装用者(児)の経済的負担を軽くし、聴覚障がい者(児)の社会参加促進を図る。

